

持経宿と池郷林道整備

◇実施日 9月7日(日) 晴

◇参加者 梶野照雄、村吉光夫、高橋桂太、湯川一郎、阪口雄二、平根浩一 6名

2015年の9月、持経宿に絨毯2枚を持って行き床に敷いてから10年間、一度も洗う機会が無かった。



マットが4ケース

土砂を削る

通過

行仙宿の床マット交換を機に、持経宿と平治宿にも同じマットを敷くことにし、床面積を高橋君に伝えてマットを購入してもらった。マットはかさばるのでいつまでも高橋君宅に置いておくことはできず、皆の都合のつく7日に持経宿行を決めた。前日、行仙宿に行

った際、国道に土砂が流れた跡があり、村道石や塔線や池郷林道にも土砂流出があることは確実なので、湯川君に伝えてスコップやジョレンなどの道具を持ってきてもらった。当初は梶野、村吉、高橋、阪口4人の予定だったが、湯川君と阪口君の知人で那智勝浦町の平根浩一さんが初参加され、合計6人になった。この人数が林道の整備で大きく役立った。

午前8時過ぎ、スポーツ公園駐車場に着くと高橋君が到着していた。「早く来すぎた」と言っていたが、午前9時の集合時間を待たずに、午前8時半に全員が揃った。

村吉車と阪口車にマットの箱を積んでみると、座席は5人分しか残らず、湯川君は自転車で持経宿まで向かった。



掘れた路面が続く

溝を埋める

持経宿に到着

村道石や塔線の入口には通行止めの標識が置かれていたが標識を移動して先へ進む。15分程進んだところで大きな土砂流出があった。通行止めの原因はたぶんここだと思われる。流出量が多いので、

路面迄掘り下げるのは困難だと判断し、車が乗り越えられる程度まで土砂を削ることにした。土砂は小石と土が殆どで、大きな岩が無かったのが幸いし、15分程の作業で車は通過できた。この先、林道ゲートまで、多少の落石はあるが比較的スムーズに走行。心配だったゲート手前、左側の沢からの流れ出しも少なくゲートに到着した。ゲートの扉が下がって開けづらく、また支点の支柱にパイプが当たって完全に開き切らないと村吉さんから聞いていたので吊り下げているターンバックルを緩めて、チェーンを短くして締め直した。支点に当たっているパイプはジョイントを緩め、ハンマーでパイプを叩き込んで当たるのを最小にした。これらの処置でゲートはフルオープンに近いところまで開くようになった。

ゲートから先は、最初は普段とほぼ同じ状況だったが、ところどころ水流で深く掘れた溝があり、慎重に走行した。その後2カ所で溝を埋めないと通行不可能な場所があり、30分位作業した。

1時間半ほど進んで、深い溝が連続して現れた。林道が右カーブした地点、太いカルバートパイプのついた沢がある場所で水流による溝が60〜70m続いていた。溝は深いところで30cmあり、タイヤを落とすと脱出が困難と思われる、ある程度溝を埋めることが必要と判断した。ここを通過するのに1時間半ほどかかり、この時点で平治宿のマット交換を断念し、皆に「今日は持経宿だけにする」と告げた。ここより上部は通常と変わらず、15分程で持経宿に着いた。

荷物を小屋まで運んで、平根さんが平治宿まで行きたいということで、ピストンですぐ戻ることを条件に阪口君と二人で平治宿に向かった。残った4人は昼食後、絨毯を外に出して、マットを敷く準備

を行う。



絨毯を外に出す



雑巾がけ



マットを敷く



敷き終わり



ストーブを仮置き

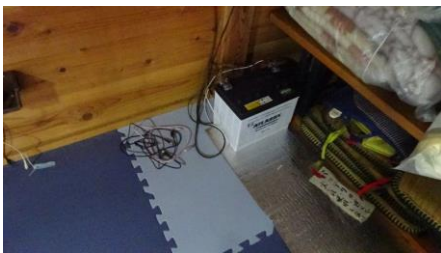


本日の参加者

で止まってしまふ。エンジンオイルの残量をチェックすると、ほぼ

空になっていた。これがエンジンの止まる原因かはわからないが、オイルが無い状態でエンジンを回し続けることはできないので、オイルが無いか探してみたが見つからなかった。次回オイルを補充して試してみたい。発電機がダメなので床を雑巾がけする。高橋君と村吉さんは行仙宿でマットを敷く経験があるので、スムーズに作業が捗る。外した絨毯は湯川君にお願いして新宮でゴミ処理していただき、薄いマットは小さく切って村吉さんがゴミ処理してくれることになった。カビの生えたゴザ2枚は焼却処分した。

午後1時半過ぎ、マットを敷き終える。逆峰のご夫婦がやってきた。大淀町にお住まいだそうです。ここから池原に降りるか行仙宿まで行くか思案中だという。コーラをお買い上げいただいた。お堂からストーブを運び、かつての囲炉裏に仮置きした。ストーブの中にスノコが見当たらない。別の場所にあるのか、もともと無いのかは探していないので不明。



バッテリーを交換



持経宿の宿泊者



平治宿行きを見送る

午後2時前に平治宿に向かった2人も帰ってきて、お堂と小屋前をきれいに掃除してくれた。湯川君はここで先に下山。ソーラー発電のバッテリーを交換して今日の作業は終了した。



下山開始

林道ゲートに着く スポーツ公園駐車場に帰着

午後2時半前、沖崎さんから聞いていた持経宿の宿泊者が到着。村道の土砂流出場所を通過できず、車を置いて歩いてきたそうだ。平治宿まで行ってくるという。まだ3時前なので十分明るいうちに帰ってこられる、と送り出した。午後2時半過ぎ、我々も帰り支度をして下山。帰りは車を降りることなく、1時間ちよつとで池原に着いた。
(記：梶野)

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:35→09:40 池郷林道ゲート→11:56 持経宿 14:40→15:05 池郷林道ゲート→15:46 スポーツ公園駐車場